

奥能登の道路除雪の取り組み (①道路の補修・補強)



道路整備課 076(225)1727

取組み 1 道路の補修・補強

- 除雪業者との合同点検
 - 道路の拡幅や段差解消、斜面の安全対策
- ◇除雪業者との合同点検



◇道路の拡幅 (県道 滝又三井線 輪島市三井町興徳寺 地内)



◇段差解消 (国道249号 輪島市稲屋町 地内)



◇斜面の安全対策 (県道 高屋出田線 珠州市若山町鈴内 地内)



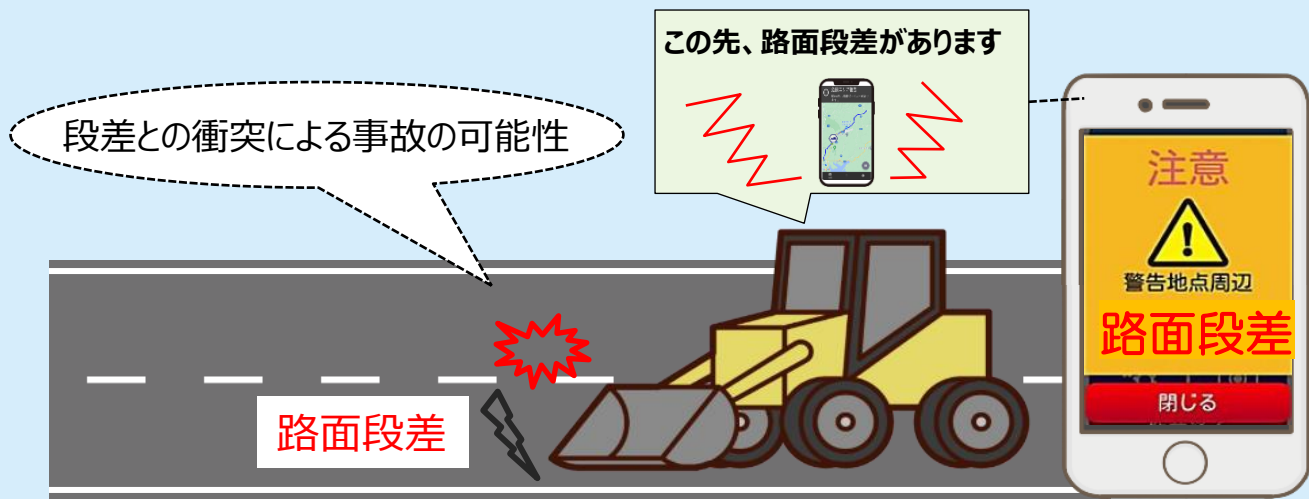


取組み2 除雪体制の強化

- 小型除雪機の導入（県内0台⇒4台）
- 道路監視カメラの増設（県内161台⇒163台）
- 除雪車への音声ガイダンスシステムを重点導入（県内11台⇒33台）

<音声ガイダンスシステム>

除雪作業の支障となる段差など障害物に除雪車が近づくと、自動的に音声でオペレータに注意喚起



<小型除雪機>



<道路監視カメラ及びカメラ画像>



取組み3 計画的な通行止め

○ 道路の状況が悪い奥能登で、まとまった降雪が予想



- ・国や警察などと連携し、計画的な通行止めを実施
- ・集中除雪により短時間で交通開放

○ 奥能登2市2町へのアクセス道路で実施予定

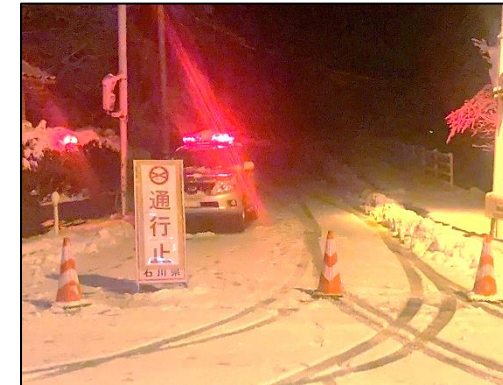
- ・国：のと里山海道（徳田大津JCT～穴水IC）、能越道（穴水IC～のと三井IC）を除雪
- ・県：国道249号、珠洲道路などを除雪

○ 事前の情報提供（HPやSNSなど）

- ・国と共同で、関係市町、関係機関、被災地の方々などへ情報発信



<計画的な通行止め及び集中除雪（昨年度の状況）>



国や市町と連携し、冬期の交通確保に向け万全を期す

道路を利用される全ての方々への情報提供



- 県ではホームページで、冬期の道路画像や積雪、気温などの情報を発信
- 「石川みち情報ネット」で今冬から新たにリアルタイムの除雪状況を表示

石川の雪みちなび
<https://www.pref.ishikawa.jp/michi/yuki.htm>



<メニュー>

- ・石川みち情報ネット
- ・石川県の冬期交通確保計画 など
- ・雪みちネットワーク路線 など

石川みち情報ネット (表示画面)



道路画像

路線名 珠洲穴水線
地点名 能登町太田原

太田原

撮影日時 2024/11/18 16:45

降積雪・気温

地点名	太田原
警戒	
積雪深	0 cm
時間降雪	0 cm
気温	4.8 °C
観測日時	2024/11/18 17:00

今冬からの
新機能

リアルタイムの除雪状況 (表示イメージ)



■ 除雪後～3時間
■ 除雪後3～6時間
■ 除雪後6～12時間

太田原

のと愛菜市場

柏木

農家民宿「磨郷」

珠洲道路

のと里山空港

能登空港(のと里山空港)

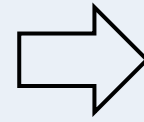
日本航空大学校

菅谷・樽谷地区 活性化施設

菅谷

冬用タイヤの早期装着

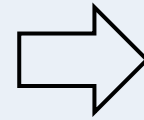
雪みちや凍った路面は滑りやすく
大変危険



早めにスタッドレスタイヤの
装着を！

雪みちの運転にはご注意

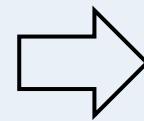
雪みちでの急発進、急ブレーキ
は危険



ゆとりをもった安全運転を！

能登地域では特に注意を

地震や大雨で道路状況が悪い
箇所あり



雪みちの運転には十分気を付けて！
計画的な通行止めによる
集中除雪を実施

**冬期の安全な交通確保に向け、
ドライバーの皆様のご理解・ご協力をお願いします**

仮設住宅における除雪対策について

- 県では、復興基金事業を活用し、**駐車場の舗装**や**除雪器具の購入**等を支援するほか、**市町等から依頼に基づき除雪作業を補助**する

復興基金メニュー

除雪の対策

除雪への
備え

仮設住宅維持管理費用支援事業

⇒ 入居者の利用しやすい環境を維持・整備するため、維持管理経費等の費用を支援

駐車場の舗装

小型除雪機の購入・リース

仮設住宅自治組織形成支援事業

⇒ 自治組織等の立ち上げ・活動にかかる経費を支援
(活動例) 除雪、草刈り、清掃活動

スコップ、ショベルの購入

除雪補助

能登復興推進隊が除雪作業を補助

⇒ 市町や社協への事前依頼に基づいて実施

除雪作業の補助を依頼

市町と連携し、**本メニューを活用した除雪対策を促進**

【仮設住宅維持管理費用支援事業】	建築住宅課	076-225-1777
【仮設住宅自治組織形成支援事業】	生活再建支援課	076-225-1986
【能登復興推進隊】	労働企画課	076-225-1672

仮設住宅等における暖房対策について



生活再建支援課 076(225)1488

- エアコンは、**仮設住宅、みなし仮設・公営住宅ともに設置支援**
- その他の**暖房器具は、NPO団体の支援**により提供

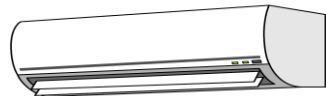
仮設住宅等の暖房

エアコンの設置

(県の支援)

<建設型仮設住宅>
付帯設備として設置

<みなし仮設>
<公営住宅>
設置費用を支援
(企業版ふるさと納税を活用)



支援制度(申込先等) HP:
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/saigai/202401jishin-kaden.html>



暖房器具(こたつ、石油ファンヒーター、ホットカーペット)の提供

(NPO団体の支援)

〔上記を含む、家電12点(その他、除湿器/扇風機/掃除機/ドライヤーなど)から4万円分を上限として入居者が選択し、現物支給〕

NPO 団体

資金提供: ジャパン・プラットフォーム
調整: 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
実施:

- ・ピースウィンズ・ジャパン(珠洲市、羽咋市、内灘町)
- ・ピースボート災害支援センター(輪島市)
- ・パルシック(能登町)
- ・ADRA Japan(穴水町)
- ・難民を助ける会(AAR Japan)(志賀町、中能登町)
- ・グッドネーバース・ジャパン(上記以外の県内9市町)

※ () は担当被災地

豪雨の被災者に対しても、同様の支援ができるよう調整し、被災者の寒さ対策を進める -7-

水道管の凍結防止対策について



<凍結断水の原因>

- 強い寒さが続き、**宅内の水道管内の水が凍ると**、体積が膨張して水道管に亀裂が入り、氷が溶けると漏水することがある。**地域で多数漏水が発生**すると、配水池の水がなくなり断水につながるおそれがある

<仮設住宅等への対策>

- **仮設住宅は寒冷地仕様**であり、地上の露出部分は保温材を巻くなど、凍結しにくい仕様
- 応急復旧した**水道本管等の地上の仮配管は、凍結しにくいよう大きな口径を採用**

<過去の事例>

- 県内では、令和5年1月に、最低気温マイナス4℃を下回る時間が長く続き、1万戸を超える凍結断水が発生
 - ・居住している家屋における水道管の凍結防止処理が不十分
(屋外の「露出配管」や「給湯設備の配管」、屋内の「床下配管」や「保温材が巻かれていない配管」等で漏水発生)
 - ・空き家の止水栓の閉栓が不十分など



保温材が巻かれていない
露出配管の漏水



保温材が巻かれた仮設住宅の配管

寒波到来が予想された際には、市町とともに集中的に効果的な広報を実施

水道管の凍結防止対策について

水道管の凍結・破裂に注意！

- ☑特に、最低気温が**マイナス4℃以下**になるときに注意
- ☑空き家も含め、止水栓の閉栓に努める

凍結を防止するには

- ☑ 水道管に保温材を巻き、外気に直接ふれないようにする
- ☑ おやすみ前に蛇口から糸を引く程度の水を流しておく



凍結したときは

- ☑ 自然に溶けるまで待つ
- ☑ 凍結したところにタオルを巻き付け、上からぬるま湯をゆっくりかける



大雪に備えた送電線周辺の森林整備の実施



大雪による道路や送電線への倒木被害を防止するため、送電線等に近接する樹木の予防的・面的な伐採（事前伐採）を市町等と連携して実施

- 令和4年12月の倒木被害を踏まえ、県、市町、電気事業者等により、県下全域を総点検し、事前伐採が必要な64箇所を抽出



■ R4.12月 倒木被害の様子

- 令和5年度から順次、事前伐採を行い、今年中に、地震の影響で実施が難しい箇所を除く59箇所について、作業が完了する見込み

■ R5事前伐採
実施状況
(輪島市)



	奥能登	中能登	県央	石川	南加賀
箇所数	31	21	3	7	2
R5完了	26	15	3	4	2
R6見込		6	-	3	2
R7以降	5	-	-	-	-

※残る5箇所（奥能登）は、復旧作業にあわせて対応



降雪前に、県、市町、電気事業者等により、対応が必要な箇所がないか再確認し、大雪による倒木被害の未然防止を図る

冬に向けた県民の皆様へのお願い



今冬は、冬型の気圧配置が強まる時期があるため、降水量や降雪量は「平年並み」か「多い」見込み
大雪となる可能性が例年より大きいと考えられる（金沢地方气象台）

●大雪、暴風雪等が予想される場合

- ・不要不急の外出、車の運転をなるべくお控えください
- ・気象台の発表やニュースなど最新の気象情報を確認しましょう



●除雪作業中の事故防止

- ・作業は2人以上で。やむを得ず1人の場合は、家族、となり近所にも声掛けを！
- ・作業前には、側溝や水路などの危険個所の確認を！屋根からの落雪にも注意！
- ・高所作業中は足を滑らせないように注意。命綱・ヘルメット等の安全対策を！

●豪雪による孤立のリスク

- ・長期停電や物流の途絶に備え、食料や水、燃料等の十分な備蓄を！
- ・使い捨てカイロ、予備電池、懐中電灯、携帯ラジオなどを常備



最新の気象情報等は
「石川防災ポータル」で確認！

「奥能登営農復旧・復興センター」の設置

○ 奥能登では、地震・豪雨の**二重災害**により、農地等に**甚大な被害**

→ 農地の冠水 約950ha うち土砂・流木等の堆積 約400ha

＜被災農業者の声＞

「農地復旧や営農再開に向けて、関係機関が一体となったワンストップの支援組織があれば大変心強い」

⇒ **被災農業者に対して、農地復旧の見通しを示し、次年度の営農再開支援など、ハード・ソフトの復旧・復興に向けた取組の「加速化・見える化」が必要**

「現地相談窓口」の機能を拡充

「奥能登営農復旧・復興センター」を設置（11月末～）

所在地

J Aのと本店内（穴水町）

構成員

県、国、市町、J A等

奥能登営農復旧・復興センター

【センターの役割】

＜相談機能＞

- ・被災機械等再取得や融資の相談対応

※県、国、JAの職員は常駐

＜【拡充】指導・支援機能＞

- ・農地復旧と耕作者確保の調整
- ・営農再開に向けた作付指導など各種支援

伴走
支援

被災
農業者